

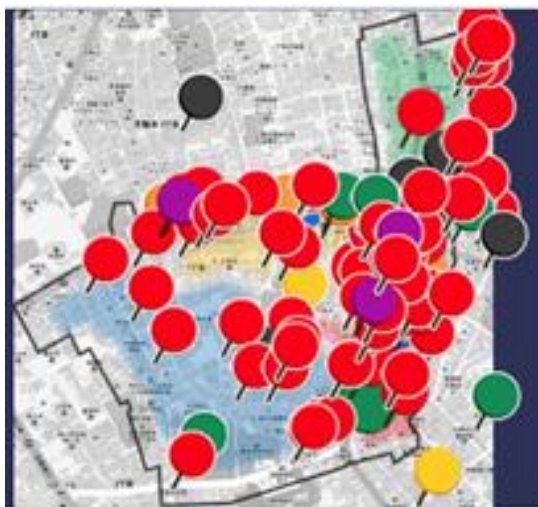
小学校 3年 社会科 「店ではたらく人」

授業のねらい

- 日常の家庭での買い物の様子を調べることでどの商店で買い物することが多いのかなどの様子を調べる。

I C T 活用の工夫

- ミライシードのムーブノートを活用する。
- 1週間の買い物調べの学習で、学級のそれぞれの児童が学区の地図に、購入品目ごとに色別に地図上に買い物をした回数分だけシールを貼ったものを持ち寄る。
- 教員は、児童が作成した学区の地図をスキャンし、データにした地図をカードとして児童に配布することで、児童が記入できるようになる。
- スタンプをクリックして、児童が紙ベースの学習で貼り付けた色別のシールを基にして、色別のスタンプをつけていき、ムーブノートの「広場」に児童がカードを送り返すと、一度に全員のカードが一覧で提示される。
- 教員側でさらに友達がつけたスタンプとまとめて1枚のカードにして共有することができ、一瞬で、どこに何色のシール（スタンプ）が集中しているか、逆に1つしか貼られていないシール（スタンプ）はどこかなどの違いがはっきりと分かる。



児童の様子

- これまで模造紙大の学区地図を用意し、それぞれが色別のシールを時間差で貼りに来ていたのが、自席で移動したり、密集して貼り付けたりすることがなく、スムーズに授業が進んでいた。

成果

- 一度に集計が簡単にでき、これまでの紙ベースでの作業よりも時間短縮につながると同時に一目瞭然の結果を提示することができた。児童は、インターネットで検索する方法を学ぶことができたことで、これからの調べ学習につなげることができた。

課題

- タブレット端末を当日学校に持って来られなかった児童への対応が、予備機の台数以上に忘れた場合は難しい。